

令和5年度 商工観光労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

令和5年6月7日（水）

◆調査箇所：真玉海岸 観光交流拠点施設（豊後高田市臼野）

【概要】

真玉海岸の新たな観光拠点施設として「真玉海岸恋叶♥ゆうひテラス」が令和5年4月にオープンした。当施設は、レストランや展望台、シャワーや舟艇庫、太陽光パネルなどを設置しており一時的な緊急避難場所としても利用できるよう設計されている。施設の概要説明を受けた後、恋叶ロードのPR動画を視聴し、施設を見学した。



<主な質疑等>

- ・避難所としての役割について
- ・舟艇庫の利用について
- ・太陽光パネルの設置について

◆調査箇所：辛島 虚空乃蔵（宇佐市辛島）

【概要】

辛島虚空乃蔵は、令和4年に三和酒造株式会社が日本酒の醸造体験、販売、軽食機能を有する施設としてオープンした。虚空乃蔵のありたい姿として「地域や社会と共生する」ことを大切にしている。

虚空乃蔵という名称の由来や立地場所の経緯、商品や醸造体験、麴を使った料理教室、酒造工程などについて説明を受け、実際に販売されている商品の純米生酒「輪奏」を試飲した。



<主な質疑等>

- ・市内外の来客状況について
- ・地域貢献の活動内容について
- ・お酒を飲めない人も楽しめる企画について

◆調査箇所：北部振興局

【概要】

北部振興局から、管内人口の推移、組織及び人員、地域活力づくり総合補助金による支援（チャレンジ支援事業、地域創生事業、空き家ビジネス活用事業）、外国人労働者の地域定着促進、福岡・大分デスティネーションキャンペーンに向けた取組やインバウンド復活に向けた取組など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・外国人労働者の地域定着促進について
- ・コロナ後の人材確保について

◆調査箇所：株式会社スーパー細川 万田店（中津市万田）

【概要】

株式会社スーパー細川では、令和4年から健康増進に役立つ商品等をAIが推奨する提案型健康増進プログラムの実証実験を開始。会員カード情報と連動するスマートフォンアプリ「カロママ」を活用し、食事メニューのカロリー計算などが可能である。現在、利用数は80人ほどで、400人の利用連携を目標としている。

社長から、アプリに関する説明を受けた後、店内での注目商品などの紹介や会員カードの利用方法などについて説明を受けた。



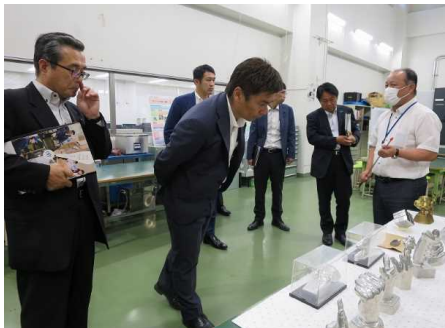
<主な質疑等>

- ・アプリでのスーパーの情報提供について
- ・商品の仕入れについて

◆調査箇所：大分県立工科短期大学校（中津市東浜）

【概要】

工科短期大学校は、本県の産業の発展、企業の技術力の向上に寄与するために、産業社会の変化に柔軟に対応できる高度な専門的知識と技能を兼ね備えた人材の育成を目的として設置され、令和5年4月から3系（機械システム系、電気・電子システム系、建築システム系）6コース制の教育訓練体制を取っている。学校が抱える課題や職業訓練の状況、溶接実習室などの概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・入学志願者の確保について
- ・学生寮入寮希望者の定員超過時の対応について
- ・県内の就職率について

令和5年6月8日(木)

◆調査箇所：ベストリビング株式会社（日田市東有田町）

【概要】

ベストリビング株式会社は、ものづくり体験型オープンイノベーション施設「CREATIVE BASE FAB」を令和4年5月にオープンした。当施設は、実際に職人の仕事ぶりを見てもらい、商品の価値を見極めてもらいたい、つくる人と使う人をつなぎたいという思いでつくられた。全国に納品している個性あるソファを紹介してもらった後、職人が作業している工場を見学した。



<主な質疑等>

- ・自動車等座椅子の納品について
- ・商品価格の設定について

◆調査箇所：西部振興局

【概要】

西部振興局から、管内の概況、組織・業務体系、地域活力づくり総合補助金、地域課題対応事業やツール・ド・九州2023について、観光・商工業の振興としてデジタル人材の育成や新型コロナウイルスによる管内への影響など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・外国人技能実習生について
- ・福岡・大分デスティネーションキャンペーンの振興局としての取組について
- ・振興局の組織改正について

◆調査箇所：玖珠町役場（玖珠町帆足）

【概要】

玖珠町役場では、新たな宇宙ビジネスの創出を目的としてプロジェクトチーム「アポロ」と「ビックバン」を立ち上げた。そのうち、チーム「アポロ」では、衛星データを活用したブランド米「くす天空の輝き」の生産に取り組んでいる。

今回の視察では、宿利町長が先行地域である青森県へ直接足を運び、衛星データを活用した米作りを行う農家の方との意見交換を行った際の動画などを視聴したほか、衛星データの活用により見込まれる今後の展望について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・スマート農業について
- ・玖珠米の販路について
- ・アプリの開発について

◆調査箇所：中部振興局

【概要】

中部振興局から、管内の概況、組織・施策体系、防災対策の推進や特定家畜伝染病対策、まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略の着実な推進（地域活性化の推進、小規模集落対策の推進、観光・商工業の振興）、地域課題解決対応事業など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ つくみイルカ島について
- ・ 学生等の活動支援について
- ・ 小規模集落対策について

令和5年6月13日（火）

◆調査箇所：株式会社デンケン（由布市挾間町鬼崎）

【概要】

株式会社デンケンは、遠隔地においても自分の意思で自由に移動して、現地の人とリアルタイムにコミュニケーションが可能な次世代型アバターロボット「newme（ニューミー）」を製造している。今回の視察では、会社の事業や社会貢献活動への取組等の説明を受けた後、工場の見学やnewmeの操作を体験した。



<主な質疑等>

- ・ 製品の搬出方法について
- ・ 社会貢献活動について
- ・ 工場立地のインターネット環境について

◆調査箇所：株式会社AKシステム（由布市庄内町大龍）

【概要】

株式会社AKシステムは、自動制御盤や機械装置の設計・製作を手掛けており、社内にて設計、板金、塗装、組立まで一貫した生産ラインを確立している。

受注のほとんどを、オーダーメイドで製作しており顧客ごとのニーズに対応できることが強みである。また、工場設備や環境が充実していることにより顧客へのより良い製品の提供を可能としている。

会社概要や新工場の立地予定などについて説明を受けた後工場を見学した。



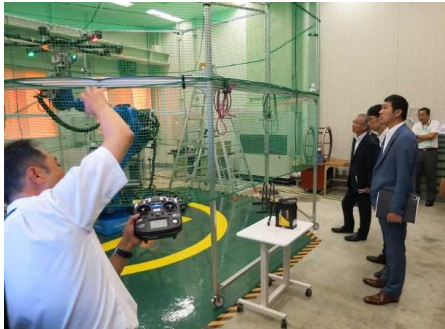
<主な質疑等>

- ・ 地場就職者の人材確保について

◆調査箇所：産業科学技術センター

【概要】

産業科学技術センターから、組織や主たる常務内容、業務計画概要、業務実績、技術支援、研究開発及び成果などについて説明を受けた後、ドローン飛行中の運動性能解析や出力性能測定を行う装置である「ドローンアナライザー」や各種ものづくりにおける製品について見学した。



<主な質疑等>

- ・ドローンを活用した農薬散布について
- ・ドローンアナライザーの研究時における課題について
- ・ドローン事業への支援等について

◆調査箇所：企業局 判田浄水場

【概要】

企業局判田浄水場では、平成28年度に判田系・大津留系・志村系の3系統の送水ルートを相互補完する「給水ネットワーク」を構築し、災害及び事故時には他のルートからの給水を可能としている。今回の視察では、組織及び職員数、電気事業・工業用水道事業の概要について、浄水場の定期的なメンテナンスや水中ドローンの活用について説明を受けた。

判田浄水場の総合制御部では、24時間体制で発電管理をしており、総合制御部での管理状況を視察した。



<主な質疑等>

- ・水中ドローンの活用について

◆調査箇所：株式会社スズキ ロジスティクスセンター（大分市大分流通業務団地）

【概要】

株式会社スズキは、半導体製造用装置のメンテナンス、保守パーツの販売、人財付加価値サービスの商品化などを手掛けており、国内半導体製造工場の90%以上に対して直接取引を行っている。

会社概要のほか女性社員の雇用や賃上げ、働き方改革などについて説明を受けたほか、入出庫及び在庫管理をパソコンで指示して自動搬送が可能である「自動倉庫」などを視察した。



<主な質疑等>

- ・毒劇物倉庫の管理資格等について
- ・インターンシップの受入れについて

令和5年6月16日（金）

◆調査箇所：東部振興局

【概要】

東部振興局から、管内の人口推移、組織及び人員、防災対策や特定家畜伝染病対策、観光客の状況や地域活力づくり総合補助金（チャレンジ支援事業、地域創生事業、地域活力拠点創出事業、空き家ビジネス活用支援事業）を活用した地域活性化の推進、地域課題解決対応事業など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域活力づくり総合補助金について
- ・姫島エコツーリズムの利用状況について
- ・姫島村のキャッシュレス決済の状況について

◆調査箇所：九州ナノテック光学株式会社（日出町藤原）

【概要】

九州ナノテック光学株式会社は、スイッチひとつでガラス等の遮光・透過状態をコントロールできる液晶調光フィルムを開発、製造しており、令和2年6月にトヨタ新型ハリアーのパノラマルーフに採用され、令和5年3月にはレクススRZのパノラマルーフにも採用された。

今回の視察では、液晶調光フィルムの基本原理や実績等について説明を受け、工場内を視察した。



<主な質疑等>

- ・車のリアガラスへの利用について
- ・液晶調光フィルムの基本原理や材料の調達について
- ・人材確保、育成について

◆調査箇所：竹工芸訓練センター

【概要】

竹工芸訓練センターでは、伝統工芸品としての竹工芸の技能と専門的な知識を身に付けた人材等の職業能力開発のほか、インキュベーション型貸し工房を設置し、県内で竹工芸で創業しようとする個人や、創業間もない竹工芸家に作業場所を提供し、創業や自立の支援を行っている。訓練のカリキュラムや修了生の就職状況、入校生の状況など事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・作品のPR方法等について
- ・貸し工房の応募者が超過した場合の対応について
- ・自営されている方の就業継続率について

令和5年6月21日（水）

◆調査箇所：一般社団法人なごり雪の会（津久見市中央町）

【概要】

一般社団法人なごり雪の会では、資料館「伊勢正三ミュージアム海風音楽庵」を運営している。資料館には伊勢正三が書いた楽譜や使用されたギターなどが展示されており、また展示品の多くは東京から取り寄せている。資料館の運営に至る経緯や現在の状況について説明を受けた後、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・津久見市との連携について
- ・入場料と運営について
- ・来客者への宣伝方法等について

◆調査箇所：南部振興局

【概要】

南部振興局から、管内の概況、組織及び人員、地域創生への取組（地域資源を生かし多様な旅行ニーズに対応したツーリズムの推進、ネットワーク・コミュニティの構築、移住・定住対策の促進）、地域活力づくり総合補助金、地域課題解決対応事業など概要説明を受け、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ガストロノミーツーリズムについて
- ・佐伯旅っチャの効果について
- ・空き家ビジネス活用支援事業について

◆調査箇所：佐伯高等技術専門校

【概要】

佐伯高等技術専門校は、県南地域の産業や就職を希望する方々のニーズにあわせ、機械加工科、建築科、オフィスビジネス科の3科を設置し、即戦力のある人材育成を行っている。

今回の視察では、各学科の実習状況を見学し概要説明を受けた後、各担当科教員から要望等の聞き取りを行った。また、VRシュミレータでの掘削機操作を体験した。



<主な質疑等>

- ・担い手不足に対する発想の転換について
- ・購入機材の経過年数について

◆調査箇所：佐伯重工業株式会社（佐伯市鶴谷町）

【概要】

佐伯重工業株式会社は、昭和63年に創業された造船事業者で、年間造船隻数は過去最多で9隻を建造している。設備概要や製品、建屋のほか新事業である陸機事業や水素燃料船の開発についてなど説明を受けた後、工場内を視察した。



<主な質疑等>

- ・水素エネルギーについて
- ・LNG船について
- ・新入社員について

令和5年6月22日（木）

◆調査箇所：有限会社フクコー（竹田市久住町久住）

【概要】

有限会社フクコーは、土木工事業者として市内公共工事を中心に経営しているが、新たに第二創業として民間救急・介護タクシー事業を開始した。民間救急・介護タクシーは「一般乗用旅客自動車運輸事業（福祉輸送事業限定）」と「患者等搬送事業者」の認定を受ける必要があり、事業参入のハードルが高く県内では2社である。また、認定制度そのものがない市町村もあり、今後、参入事業者を増やす上での課題も多い。今回の視察では、それらの課題や今後の構想について説明を受け、介護タクシーを見学した。



<主な質疑等>

- ・自治体の支援等について
- ・人材確保について
- ・他社との連携システムづくりについて

◆調査箇所：まちづくりたけた株式会社（竹田市竹田町）

【概要】

まちづくりたけた株式会社は、受託事業、電力事業、不動産事業、人材マッチングなどによる、まちづくり支援に取り組んでいる。また国の事業を活用し、空き家をリノベーションした「FOREST～CO-CREATION VILLEGE～」について説明を受けた後に、リノベーション施設を視察した。



<主な質疑等>

- ・受託業務の再委託について
- ・商工会との連携について
- ・所有者不明の空き家の活用について

◆調査箇所：豊肥振興局

【概要】

豊肥振興局から、管内の概況及び特徴、組織及び人員、重点項目（園芸・畜産振興による産出額増大、多様な地域資源を活用したツーリズム振興）、地域活力づくり総合補助金や酒蔵を活用した地域活性化事業など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域活力づくり総合補助金の活用状況について
- ・まちづくり事業者の継続性について
- ・豊後牛やおおいた和牛について

◆調査箇所：藤居醸造合資会社（豊後大野市千歳町）

【概要】

藤居醸造合資会社は、国の補助金を活用し、クラフトビールの製造・販売に取り組み、あわせてビールやおつまみ等の飲食やイベント等の開催ができる施設を令和4年9月にオープンした。

今回の視察では、焼酎蔵とビール醸造所を見学し、製造工程等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ビールの機械設備費やメンテナンスについて
- ・卸先について
- ・ビールの麦の産地について